

agriculture
communication
magazine

ば

no.114

7
2018

さ



JA赤城たちばな

<http://www.jaat.net/>

●Contents／目次

- ・ 営農インフォメーション
- ・ 女性のページ
- ・ 農業指導センター情報
- ・ お知らせコーナー
- ・ 年金友の会
- ・ 読者のコーナー

特集

第19回通常総代会を開催
常勤役員のあいさつ

晴天の中、橘小学校5年生による田植えが行われました。みんな泥んこになりながら汗を流していました。(詳しくは16ページに掲載)

第19回通常総代会を開催

J A 赤城たちばなの第19回通常総代会が5月26日、北橋公民館で開かれ、上程された全8議案は原案どおり可決されました。

この日開かれた総代会には、各地区から選ばれた総代367人が出席（うち本人出席195人、書面出席170人、委任2人）し、午前9時30分に開会しました。

角田組合長はあいさつで、日本経済は雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調にあり、明るい兆しが見られる一方、農業就業人口の減少や高齢化、遊休地や耕作放棄地の増加、また農畜産物の価格低迷による農家経営の圧迫など、農村地域の活力維持や地域資源の適正な保全管理にかかる課題が山積みになっていると報告し、「農業経営の基盤の強化、農家所得の増大、JA北群渋川との合併研究などを進め、中期計画の最終年としてJAの自己改革を進め、地域に必要とされる組織となるよう取り組んでいきた

い」と出席者に伝えていました。

議長には、赤城町溝呂木の木暮治一さんが就任し、平成29年度の事業報告及び剰余金処分案承認の件、平成30年度事業計画設定の件など、上程された8議案と附帯決議が審議され、全て原案どおり可決されました。

最後に「JAグループ群馬の自己改革の実践に関する特別決議」を萩原副組合長が読み上げ、出席者の賛同を得ました。



役員選任のため設けられた投票所



監査報告する田子代表監事

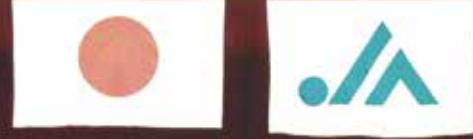


支所ごとに受付をする総代

組合長のあいさつ



全議案が可決決定された
第19回通常総代会



— 議 案 —

報告事項

平成29年度貸借対照表、
損益計算書、注記表の内
容及び附属明細書並びに
全国農業協同組合中央会
の監査報告及び監事の監

査報告の件

第1号議案

平成29年度事業報告及び
剰余金処分案承認の件

第2号議案

平成30年度事業計画設定
の件

第3号議案

平成30年度賦課金の額並
びに賦課徴収の時期及び
方法決定の件

第4号議案

平成30年度における理事
及び監事の報酬に関する
件

第5号議案

定款変更の件

第6号議案

監事監査規程全部改正
の件

第7号議案

信用事業規程変更の件

第8号議案

役員選任の件

— 優良組合員表彰 —

優良組合員表彰基準に基
づき、地域農業の発展のため
積極的な生産活動に取り組
んでいる次の方が表彰されま
した。

大畠善市さん（長井小川田）



表彰を受ける大畠さん

— 特別表彰 —

長年にわたりJA並びに地
域への貢献が顕著であった(有)
兵藤自動車工業が特別表彰さ
れました。



表彰を受ける兵藤達雄さん

出席者によるJA綱領の唱和

JA赤城たちばな

常勤役員のあいさつ

代表理事組合長



萩原一夫

代表理事副組合長



須田愛作

常務理事



大畠惠一

常務理事



平素より当JAの事業に対し、
格別のご理解とご協力を賜り、厚
くお礼申し上げます。

さて、私こと、5月26日開催の
第19回通常総代会後の理事会にお

その重責を賜りました。

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと、この度の第19回通常総代会並びにその後開催された理事会において代表理事副組合長に選任され就任いたしました。

組合員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと、この度の第19回通常総代会並びにその後開催された理事会において常務理事に選任され就任いたしました。

農業、JAを取り巻く環境は非常に厳しさを増すなか、重責を痛感しておりますとともに身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではありますが、職員として培った経験を生かし、組合員・地域住民みなさまに必要

こうした中で、組合員の皆様の信頼に応えるべく、微力ではあります、が、最善の努力を傾注し、事業運営に当たる所存です。

私は、40年近くにわたり肥育牛経営を致しております。若輩者ではあります、が、この経験を生かして今後のJA運営に役立て、組合員・農業者皆様の所得増大と農業生産の拡大に向け全力をあげて職務に取り組んで参ります。

今後とも、一層の御指導御鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

農業、ＪＡを取り巻く環境は非常に厳しさを増すなか、重責を痛感しておりますとともに身の引き締まる思いでござります。

もとより微力ではありますが、職員として培つた経験を生かし、組合員・地域住民みなさまに必要とされるＪＡを目指していく所存でありますので、なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

このほど第19回通常総代会において理事に就任、その後に開催された理事会において金融共済担当常務理事に選任され、その職責の重大さを痛感しています。

今後は、職員として培つた知識、経験を生かし、組合員、地域住民に親しまれ、必要とされ、愛されるJA赤城たちばなを目指し、役員一丸となつて誠意努力して行く所存でありますので、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げて就任の挨拶といったします。



常勤監事

春田和美

暑さ厳しき折、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の総代会の役員改選並びに監事会において、常勤監事に選任されました。

私は、これまで、前橋市のJAビルにおいて、県信連(現・農林中央金庫・前橋支店)に37年間、農協中央会に3年、通算40年間在籍し、特に、後半の十数年間は専ら監査業務に携わっておりました。

今回、ご縁があつて当ＪＡの常勤監事としてお世話になることとなりましたが、これまでの経験を活かし、当ＪＡの発展および健全性確保のために取り組む所存です。つきましては、組合員・地域の皆様方のご指導、ご協力をお願ひし、就任の挨拶と致します。



J A 赤城たちばな 新役員の紹介

新参与に鳥山薰さん（見立）と石田玉枝さん（上箱田）が着任しました。前参与の任期満了に伴い、JA女性部から委嘱されたものです。

女性部や青年部など、地域の担い手の意見を直接J.A.運営に取り入れることで、組織の活性化を図ろうと設置されている役職です。

任期は平成33年の通常総代会まで。2人は6月1日の理事会に出席し、その任務に就きました。

A photograph of two women standing side-by-side against a plain white background. The woman on the left has short, dark, wavy hair and is wearing a light grey, long-sleeved top. She is smiling broadly. The woman on the right has short, dark hair styled in a bob and is wearing a white, button-down shirt. She is also smiling. Both women appear to be middle-aged or older.

鳥山さん(左)と石田さん(右)

宮農赤城たちばなインフォメーション



実演する松井技師



リンゴの摘果について説明を受ける生産者ら

消費者に良い物を
リンゴ生産者が講習会

赤城りんご組合は5月22日、
狩野智さんが管理するほ場でリ
ンゴ栽培及び摘果講習会を開き
ました。生産者やJA担当者、
県の関係者11人が参加しました。

JAは5月2日、北橘営農
生活センターでズツキニ目
ぞろえ会を開き、集まつた生
産者19人が品質確認や出荷
基準を学びました。

松井技師は「リンゴの摘果には
品種別に留意点があるため、品
種の特性を良く理解して作業し
てもらいたい。適正な摘果を行
えば花弁分化、発達を促進し隔
年結果を防ぐことができる。摘
果の遅れに関しては翌年にも大
きく影響するので注意してもら
いたい」と説明しました。

同組合員は10戸で約10haを栽
培。ぐんま名月をはじめ、ふじ、
赤城、おぜの紅、紅鶴、陽光、
新世界など多くの品種を栽培し
ています。全国でも特に人気の
ぐんま名月は10月下旬より
出荷予定です。

今後の取り組みについて生産
者は「毎年楽しみにしている消費
者の方々に今年も品質の良いリ
ンゴを提供できるように、剪定
講習を始め、摘果講習、また、
技術導入の講習会を積極的に開
催し、そこで学んだ事を組合員
全体で協力しながら生かしてい
きたい」と意欲を示しました。

県中部農業事務所の松井技師
が、結果過多の防止や良好な樹
勢維持、果実の品質向上などを
目指した摘果方法を紹介し、実
演しました。

松井技師は「リンゴの摘果には
品種別に留意点があるため、品
種の特性を良く理解して作業し
てもらいたい。適正な摘果を行
えば花弁分化、発達を促進し隔
年結果を防ぐことができる。摘
果の遅れに関しては翌年にも大
きく影響するので注意してもら
いたい」と説明しました。

同組合員は10戸で約10haを栽
培。ぐんま名月をはじめ、ふじ、
赤城、おぜの紅、紅鶴、陽光、
新世界など多くの品種を栽培し
ています。全国でも特に人気の
ぐんま名月は10月下旬より
出荷予定です。

JAは5月2日、北橘営農
生活センターでズツキニ目
ぞろえ会を開き、集まつた生
産者19人が品質確認や出荷
基準を学びました。

J A担当職員が形状や色
沢などの出荷規格や荷作り、
収穫時の注意点を説明。「収
穫時は表皮が柔らかく、傷
が付きやすいので丁寧な箱詰
めを心がけてもらいたい」と
呼び掛けました。

ズツキニは育てやすく管
理しやすいため、管内では生
産者が年々増加。8年前は3
戸でしたが、現在24戸まで増
え、管内の主要作物になつて
います。

J Aは5月2日、北橘営農
生活センターでズツキニ目
ぞろえ会を開き、集まつた生
産者19人が品質確認や出荷
基準を学びました。

J A担当職員が形状や色
沢などの出荷規格や荷作り、
収穫時の注意点を説明。「収
穫時は表皮が柔らかく、傷
が付きやすいので丁寧な箱詰
めを心がけてもらいたい」と
呼び掛けました。

ズツキニは育てやすく管
理しやすいため、管内では生
産者が年々増加。8年前は3
戸でしたが、現在24戸まで増
え、管内の主要作物になつて
います。

ズツキニは育てやすく管
理しやすいため、管内では生
産者が年々増加。8年前は3
戸でしたが、現在24戸まで増
え、管内の主要作物になつて
います。

規格の統一図る ズツキニ目ぞろえ会



丁寧に箱詰めされたズツキニ



規格の統一を図ろうと目ぞろえする生産者

夏期シイタケの日ぞろえ 安定出荷を目指す

赤城橘椎茸組合は6月22日、北橘椎茸共選所で夏期シイタケの出荷目ぞろえ会を開きました。生産者や全農ぐんま、JA担当者らが参加しました。

北橘椎茸共選所ではパック詰めの生シイタケの出荷が基本となります。が、高温時はシイタケが大きく育ちにくく、夏期のパック詰めの作業性が低下しています。そのため、作業性が高く、



規格の統一を図ろうと目ぞろえする生産者ら



袋入りシイタケに使用します

市場から評価を得ている袋入りシイタケ出荷を拡大することになりました。従来の袋入りシイタケの出荷は、夏期に日持ちが悪くなると指摘があり、検討を重ねた結果、高品質素材とぐんまちやんのイラストを入れたデザインを採用することになりました。品質の改善と出荷の簡素化を目指します。

日ぞろえ会では生産者と共選所職員が意見を交わし、規格と品質について確認。夏の繁忙期に出荷作業を効率よく進めるため、お互いに協力し合うことになりました。全農ぐんまの茂原さんは「規格統一を目指し、安定した出荷と品質の維持に注意してもらいたい」と生産者に呼び掛けました。

J Aはこの研修会などを通じ、生産者に適正な管理・防除を行つてもらうことで、品質の優れた露地ナスを出荷しています。

露地ナス現地研修会 V字仕立てなどを確認

J Aは6月18日、北橘町の飯田誠二さんの管理するほ場で露地ナス現地研修会を開きました。

4月下旬の定植から始まり、5月下旬定植後の初期管理について現地で確認し、これから行うV字支柱の立て方・整枝・切り戻しなどを学ぼうと、農業者やJA職員、県の関係者ら10人が参加しました。

今年は3月から梅雨入りまで気温の高い日が続き、4月以降の雨量も少なかつたため、マルチ張りの定植準備作業が遅れていました。渋川地区農業指導センターの後藤主幹は「ほ場の乾燥による活着の遅れ・ハダニ類やアザミウマ類の発生も見られ防除に苦慮しているほ場も見受けられる」と近況について生産者に説明しました。



色つやの良い露地ナスが育っています



実演を踏まえ、V字仕立てを学ぶ生産者ら

woman voice

女性 ページ

70度までしっかりと
冷まします



会場にはお茶の豊かな香りが広がっていました



講師の田中さんから配列について指導を受ける
参加者

参加者は「鉢が
とても素敵、花
の種類も『花たば
こ』など珍しい花
があり、長く楽
しみたい、大切に
育てよう」と笑顔
で感想を話して
いました。

J Aは5月18日、新茶をより美味しく飲んでもらい、地域住民の交流の場にしてもらおうと、八崎ふれあい館でお茶の淹れ方講座を開きました。参加者は午前と午後合わせて25人。講師に(株)ハラダ製茶の加藤さんらを招き、お茶の種類や特徴、おいしい淹れ方を説明しました。

引き立つ本来の味 お茶の淹れ方を学ぶ

JAは5月18日、新茶をより美味わいが異なる。茶葉と水選びも重要で適した温度と時間で待ち、最後の一滴まで注ぐことでお茶の本来の香りと味を引き出してください」と話しました。

これから暑い季節にうつつづけの冷茶の淹れ方も学び、講座終了後は、新茶や急須の販売もあり、家で早速試そと購入していました。

て、お茶をおいしく淹れる方法を学び実際に試飲しました。

加藤さんは、「最近人気が高く、

煎茶は淹れる湯の温度によって味わいが異なる。茶葉と水選びも重要で適した温度と時間で待ち、最後の一滴まで注ぐことで

玉村町の田中敏子先生(ハートフルガーデンTanaka)を講師に迎え、初夏の花を楽しむ寄せ植え講習会を開きました。参加者は16人。

今回はブリキ素材でジョウロ型になっている鉢を使い、この「変わりコンテナ」が寄せ植えの花をよりいつそう引き立ててくれます。参加者は、6種類の花の特徴を聞いた後、各自寄せ植えをしました。田中先生は植え方の注意点やコツなど、ユーモアを交えながら楽しく指導していました。植えた後は水くれ、

液体肥料の投与、粒状の殺虫剤を少量投与するなど管理の仕方について説明を受けました。
10月頃まで鑑賞した後解体し、植物は、ハーブ系なので虫除けにもなり地植えにすると増えるので、毎年楽しめるとのこと。

自慢の鉢植えが完成



女性に大人気! 変わりコンテナの寄せ植え

JA赤城たちばな

「家の光」誌を活用 オリジナル作品が完成

J A女性部では、「家の光」誌の記事を活用して手芸や料理教室などを行っています。

5月28日に折り紙で楽しむ花の切り紙とお福わけ鶴を作りました



完成したエコバッグと参加した皆さん



色とりどりのお福わけ鶴

した。

6月18日にはお米の袋を使つたエコバッグ作り。鳥山孝子女性部長が講師となり、約2時間半かけて完成させました。仕上げに稲穂や文字に金粉などを貼り付け、オリジナルのバッグが出来上りました。

米の袋は丈夫で破れにくいのでバッグにすると使い勝手が良いと評判。また台所では野菜などを入れて収納グッズとしても活躍します。

部員らは「ミシンを掛けるところは難しいが、費用がかからず出来るのは嬉しい」と収納力抜群のバッグに満足していました。

「親子料理教室」を開催 参加者を大募集します！

J A女性部主催「親子料理教室」を開催します。夏野菜をたっぷり使つた「夏野菜カレー」や「ズツキニ」のパスタを作ります。気軽に参加して親子の絆をよりいつそう深めましょう。

●開催日時

平成30年8月3日(金)
午前10時

●開催場所

八崎ふれあい館
北橘町八崎1011-3

●募集定員

先着10組

●参加費
1組500円
※親子で申し込み下さい

●持ち物 エプロン・三角巾

●申込期限
平成30年7月27日(金)
※定員となり次第締め切りとさせていただきます

●申込み・問い合わせ先
経済福祉課 佐藤
☎ 0279(52)2104

去年はおにぎらずや
果物と野菜のジュースを作りました



午前10時より
各地区集会場で開かれます

JA赤城たちばな

農業指導情報センター



写真：アザミウマ類による葉のケロイド症

コギクの病害虫対策について
露地栽培を基本としたコギク
は、これからの防除が、重要な
時期になります。8月のお盆、
9月のお彼岸に向けて、しっかりと
防除対策を行い、良品生産

に努めて下さい。

(1) アザミウマ類

生育期に成・幼虫が生長点付
近に寄生して吸汁するため、展
葉してきた葉にケロイド症状が
発生します。特に、ミカンキイ
ロアザミウマなどは花を好んで
食害するため、花弁にカスリ状
の小斑点を生じたり変色しま

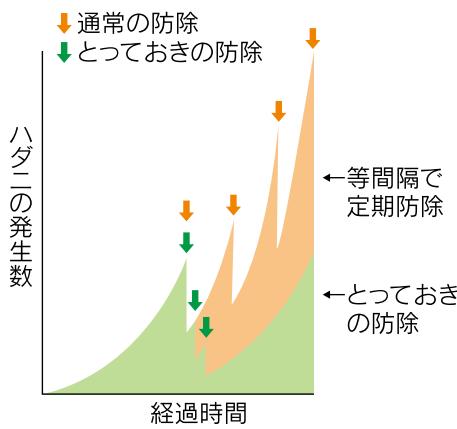
(2) ハダニ類
高温乾燥時に繁殖は旺盛にな
り、短期間のうちに著しい被害
を与えるようになります。ハダ
ニ類は汁液を吸収し、葉緑素を
破壊するので、被害株は生育が
衰える一方、葉や花にカスリ状
の小斑点を生じたり、変色しま
す。

ハダニ類は葉裏や蕾など薬剤
のかかりにくい場所に寄生する
ので、1回の防除ですべてのハダ
ニ類に薬剤をかけるのは不可能
です。多発時は薬剤のローテー
ションを考え、3日に1回くらい

(3) オオタバコガ
6～10月にかけて発生が多く
なります。幼虫が新芽を食害す
るため、心止まりとなったり展
開してくる葉が穴だらけになつ
たりします。発生に波があるた
め、発生初期の適期防除が重要
になります。

(4) 白さび病

露地栽培では梅雨期にかけて
多発します。胞子の発芽最適温
度は18℃前後で、多湿条件で夜
温が10～15℃位の低温のときに
発病が多くなります。発病後の
薬剤散布はほとんど効果がない
ため、発病前から予防散布を徹
底しましょう。特に、葉裏に胞
子の形成が多いので、薬剤が葉
裏に十分付着するよう散布して
下さい。



図：ハダニ類防除の集中散布例

◆ 防除のコツ
防除のコツはなんと言つても
早期発見・早期防除です。発見
が遅れ多発してからの防除では
効果が上がりません。常に観察
し早期発見に努めて下さい。

**(1) まず農薬をタップリとてい
ねいに散布**
のペースで、連続して散布する
方が、効果ははるかに高くなります
(止めたいときの3連発)。

(2) 狹いところを定める
薬量と時間と気持ちに余裕を
持つことがていねいな散布につ
ながります(急いだり集中力が
落ちると薬剤がかかりにくくな
ります)。

(3) 散布時間に気をつける
暑い時期、早朝は葉の先まで
ピンと張りがあつて斜め上を向
いていますが、昼間の暑さを過
ぎると、夕方には葉が垂れてい
ることが多くなります。ハダニ
類のいる葉の裏側、ミカンキイ
ロアザミウマのいる花の中に薬
剤を届かせるには、早朝の散布
が適しています(かかりやすい時
が狙いどき)。

ちびっ子あつまれ!

収穫体験の

参加者募集

ワクワクするイベントが盛りだくさんの「ちびっ子農業体験」を開催します。

今年は、収穫体験の後、ウォーキングや手作りオセロ、米・コ

ンニャクゼリーのつかみ取りを実施する予定です。農家のお母さん手作りの昼食もあります。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

開催日時

平成30年7月28日(土)

午前9時

集合場所

渋川市赤城総合運動自然公園

対象者

管内の小学1～6年生

※1・2年生は保護者同伴

参加費

200円(昼食・保険料含む)

※当日集金します

申込期限

平成30年7月13日(金)

申込み・問い合わせ先

ふれあいの店しきしま店 狩野

☎ 0279(56)2325

パイアハウスリース

希望者を募集

地域の推進品目を中心に生産拡大を図る方を対象に、パイアハウスの導入を支援します。群馬県の補助事業を活用したJAのリース事業です。募集内容は次のとおりです。

対象品目

ホウレンソウ、モロヘイヤ、パプリカ、ネギ、その他の軟弱野菜

利用条件

当JAの正組合員

赤城町、北橘町で耕作する方
(建て替えは対象外)
3ルア以上規模拡大をする方

利用期間

契約書に基づき10年

申込期限

平成30年8月末

申込み・問い合わせ先

農産園芸課 星野

☎ 0279(52)2116

就農支援講座

受講生募集

定年退職者や帰農者など、就農希望者の皆さんの農業を応援するとともに、組合員の農業知識や経営の向上を目的に就農支援講座を開講します。

受講を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

受講を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

実施日

平成30年8月下旬

集合場所

(計7回) 現地実習含む

集合場所

J A本所および

対象者

北橘営農生活センター

対象者

就農希望者

申込み・問い合わせ先

(組合員外の参加も歓迎)

募集定員

先着15人程度

申込み期限

平成30年8月上旬

申込み・問い合わせ先

農産園芸課 森田・赤沼

☎ 0279(52)2116

農業経営収入保険 が始まります

平成31年1月から、農業者の経営努力では避けられない、自然災害や市場価格の低下など、収入減少を総合的に補てんする「収入保険」が始まります。

農産物なら全て対象(収入を補償する類似制度は除く)

となり、収入保険に加入していれば、農業経営者ごとの平均収入の8割以上の収入が確保されます。

今年の秋から加入手続きが始まり、青色申告の実績が

1年分あれば加入できます。

詳しくは、最寄りの農業共済組合にお問い合わせください。

問い合わせ先

N O S S A I ぐんま渋川支所
☎ 0279(26)2600

N O S S A I ぐんま本所
☎ 027(251)5631

年金友の会



県年金友の会総会

群馬県JA年

金友の会は、6

月25日、JAビ

ルで第38回群馬県

J A年金友の会総会を開

きました。

会員ら約200名が出席し、平成29年度事業報告や平成30年度事業計画、役員改選について協議しました。

事業計画では、会員相互間の連携を密にするとともに、「JA年金友の会会員紹介運動」への取り組みを実施し、会員の增强増加と活動のさらなる活性化につなげることが決まりました。

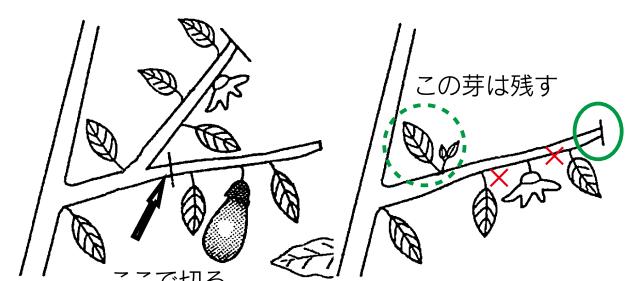
総会では、第21回群馬県JA年金友の会短歌・俳句・川柳大会の表彰式が行われました。

「前号のお詫びと訂正」「つばさ5月号」において、誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

(1) 6ページのアメニティ通常総会の写真の説明。
正) 左から
正) 右から

(2) 8ページの露地なす栽培のポイントにおける図
○栽培のポイント
① V字仕立て主枝選びのポイント

トの図
14ページの星野幸子さんの俳句



雲が去り又雲がすぎ鯉のぼり
正)

雲が去り又雲がすぎ鯉のぼり
正)

●短歌の部(入選)

当JAからは3人が見事受賞しました。

時ならぬ雪にとまどう小すずめに
小米投げれば連れ来る友を

狩野とみさん(赤城町津久田)

●俳句の部(入選)

日短ややり残したる野良仕事

岩崎昌子さん(赤城町三原田)

●川柳の部(入選)

年金を使えば光る老夫婦

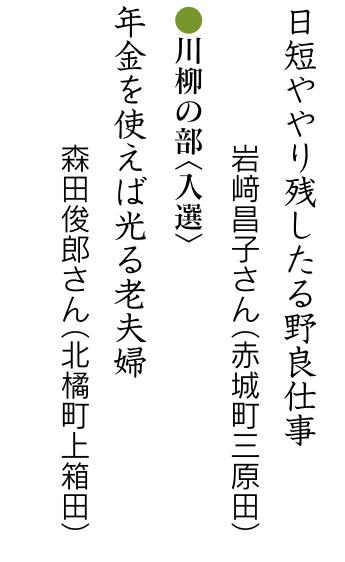
森田俊郎さん(北橘町上箱田)



表彰された森田さん(左)と岩崎さん(右)

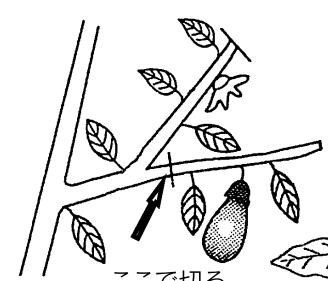


表彰された狩野さん



②切り戻し剪定についての図

14ページの星野幸子さんの俳句



休日・夜間 緊急連絡先

●通帳、キャッシュカードの盗難、紛失

JAバンク群馬
キャッシュカード紛失共同受付センター
0120-25-4422

●交通事故(=自動車共済の事故受付)

JA共済事故受付センター
0120-258-931

●LPガス切れ・故障

JAあんしんセンター **0120-182-571**

●葬祭に関する連絡先

ふれあいの店北橘店 **TEL.0279-52-2104**
ふれあいの店横野店 **TEL.0279-56-2023**
ふれあいの店しきしま店 **TEL.0279-56-2325**



5月末のJA報告

組合員総数	3,640人
(うち正組合員	2,138人)
出資金総額	5億 7,642万円
事業実績	
貯金総額	334億 542万円
貸出金総額	34億 9,866万円
長期共済保有額	1,157億 1,096万円
農畜産物販売総額	10億 8,923万円
購買品供給総額	5億 4,318万円
自己資本比率	18.32% (平成30年2月末現在)

安心と信頼を
モットーに
真心をこめて
お手伝いします。

■指定店

- ・ギフトショップイノ・須田葬祭
- ・さいとう典礼

24時間受付対応電話番号

**TEL 0279-52-2104
0279-56-2023
0279-56-2325**

J
A
葬
祭
事
業
の
お
知
ら
せ

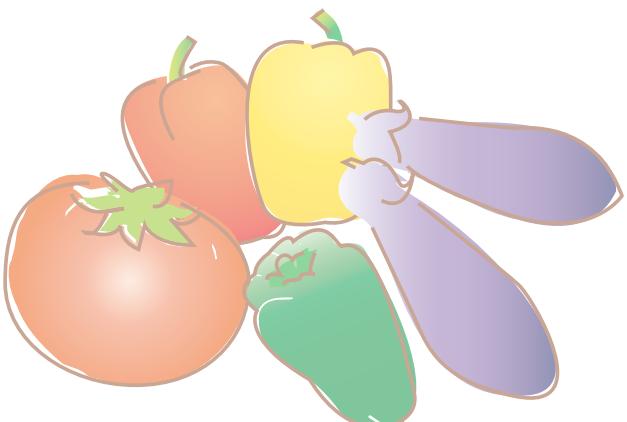
休日相談会開催!!

ローン、相続、自動車共済、生命共済など

お電話または
窓口にて
ご予約受付中

JA職員が、ご相談にお答えします。お気軽にご来場・ご相談ください。

開催日	7月22日(日)・8月11日(土) 8月26日(日)・9月8日(土)
開催時間	9:00~16:00
開催場所	北橘支所 0279-52-2103 横野支所 0279-56-2021 しきしま支所 0279-56-2301



協議事項	第1号議案 平成30年度仮決算方針決定の件	第2号議案 第19年度業務報告書提出の件	第3号議案 理事の小委員会の委員配置の件	第4号議案 役員報酬審議会設置規程	第5号議案 平成30年度における理事の報酬配分決定の件	第6号議案 内部監査の品質に関する内部評価報告について	第7号議案 平成30年度内部監査業務活動報告について	第8号議案 平成30年4月末経営情勢報告について	第9号議案 當面の行事予定について	第10号議案 當面の行事予定について
⑥機構図について										
⑤當面の行事予定について										
④平成30年4月末経										
③當農経済情勢報告										
②内部監査の品質に										
①平成29年度内部監										

理事会だより(6月1日)

読者

俳句

選者 狩野 忠史

臯月数多庭一面に競ふ色
柿若葉日に輝ける雨上り

下田よしい

田植機の熟す五反歩朝餉前

角田美枝子

評 今年の農協の稲の苗は五月十九日から配布が始
まつたと聞く。五月下旬になると夜明けも早く、
田植機の性能も向上し朝食前に五反歩を植え終へ、
驚いたり感心したりしている作者。手植の昔が偲
ばれる。

子供の日食事処の混んでをり

吉田 春江

評 現代の子供の日が描けた。多分おじいさん、おば
あさんも一緒。平和な家庭が見える。沢山食べて
元気に育つてほしい。

みどりの日秩父めぐりの一万里

高橋 初江

評 これは子供の日の前日、この日は私も吟行会があ
りよい天気だった。秩父の札所めぐりであろう。
意識して歩かないとい一万歩歩くのは大変。健脚に
感謝しつつ幸せをかみしめた事でしょう。みどり
の日が動かない。

生涯をこの里に住み蜂を飼ふ

角田タケ子

蒲公英や黄金の如き色放つ

石田袈裟男

片便り筍飯を炊いて待つ

高橋かづ江

佐藤 満子

武者人形飾り曾孫の主役なる

奈良 素子

濡れ縁に忘れ物あり子供の日

山後とし子

朝一番の莢豌豆を食卓に

諸田みね子

万縁や秘湯に四肢を伸ばし合ふ

高橋 夏江

籠もるごと筍湯搔く厨かな

岩崎 絹江

親つばめに続く反転つばめの子

大友 恵子

藤波の搖るる一山佇めり

狩野ミエ子

始めたる庭木の手入れ夏来る

藤川ひとみ

病室の孫を励ます若葉風

松岡 悅子

十葉のつぼみふくらみ抜きがたし

田水張る働く水の輝けり

あなたの俳句 お待ちしております。

[投句の記載事項]

俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)
郵便番号／住所／氏名(俳号併記)／年齢／電話番号

[投句方法]

- ・最寄りの支所窓口へ
- ・FAX:(0279)56-4152
- ・e-mail:tsubasa@jaat.jagunma.net
- ・郵送:〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2

[投句先]

JJA赤城たちばな 企画管理課

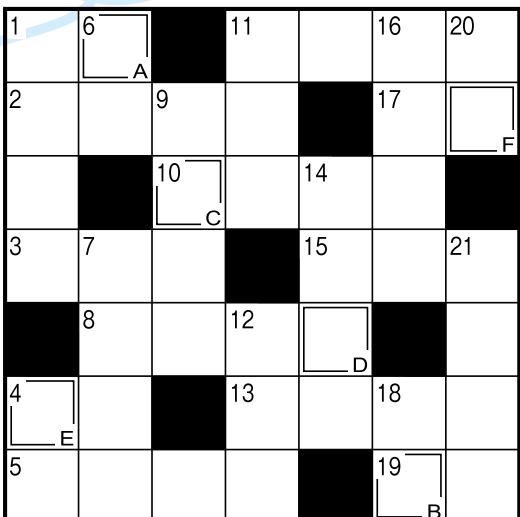
[締め切り]

平成30年8月5日

みなさん、
ご応募
ください。

【クロスワード】

二重枠に入った文字を、A→Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



今回の出題は、クロスワードパズルです。正解者には抽選で粗品を進呈しますので、皆さん振るってご応募ください。

【応募要項】

はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。

e-mail・FAXでもご応募できます。

e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net

FAX:(0279)56-4152

[締め切り] 平成30年8月10日

【はがきの記入例】

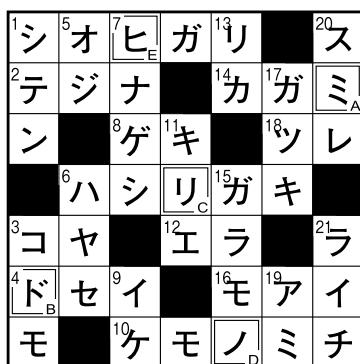
1. 答え	379-1124
2. 住所 氏名 年齢 職業 電話番号	渋川市赤城町滝沢 六四一二
3. ご意見等	企画管理課行

頭の体操

【前号の解答】

クロスワードの答え

ミドリノヒ
A B C D E



■当選者(応募数33通)

石田とき江さん 北橋町真壁
樋政好さん 北橋町上南室
齊藤てるみさん 赤城町勝保沢
諸田広子さん 赤城町滝沢
狩野貞子さん 赤城町津久田

- タテのカギ**
- ①酒を飲むための小さな器
 - ②歌うことを見みに行きます
 - ③シイタケ、シメジ、エリンギなど
 - ④整形で膝の関節を診てもらつた
 - ⑤ピカツ、ゴロゴロゴロ音を遮断したいときに
 - ⑥料理をのせます
 - ⑦今度来た新人は仕事の——が早いね
 - ⑧うな花。鎌倉の明月院はめます
 - ⑨ラストスパートです
 - ⑩社会の——として地域に貢献する
 - ⑪本能寺の変を起こした光秀
 - ⑫乱れたものをきちんと直すこと
 - ⑬親から子へ受け継がれます
 - ⑭こういうことはここじやあ日常だよとも
 - ⑮鎖国中にも貿易が行われます
 - ⑯虫をよけるため布団の周りにつります
 - ⑰書類や伝票につきます
 - ⑱虫をよけるため布団とサッシと呼ばれるこ
 - ⑲俳優が演じたり入り込んだり
 - ⑳アウトの反対語
 - ㉑木暮登美子
- ヨコのカギ**
- ①七夕の飾りに使う植物の——が早いね
 - ②歌うことを見みに行きます
 - ③シイタケ、シメジ、エリンギなど
 - ④お酒が飲めません
 - ⑤ピカツ、ゴロゴロゴロ音を遮断したいときに
 - ⑥料理をのせます
 - ⑦今度来た新人は仕事の——が早いね
 - ⑧うな花。鎌倉の明月院はめます
 - ⑨ラストスパートです
 - ⑩社会の——として地域に貢献する
 - ⑪本能寺の変を起こした光秀
 - ⑫乱れたものをきちんと直すこと
 - ⑬親から子へ受け継がれます
 - ⑭こういうことはここじやあ日常だよとも
 - ⑮鎖国中にも貿易が行われます
 - ⑯虫をよけるため布団の周りにつります
 - ⑰書類や伝票につきます
 - ⑱虫をよけるため布団とサッシと呼ばれるこ
 - ⑲俳優が演じたり入り込んだり
 - ⑳アウトの反対語
 - ㉑木暮登美子

啓蟄の冬の畠に終止符を
息子の休日春耕なせり
足腰の弱くなりたり散歩道
杖をたよりに歩幅の狭し

都丸 津久井 光代
田子 嘉津 達雄
茂木 初江

短歌

やまゆり短歌会

山の端はまだ暮れかねて星ひとつ
寄り添うごとく二日月見る
田子 嘉津 達雄
茂木 初江

平昌五輪カーリング娘いちご食み
「そだね」の笑顔銅メダルとる

狩野 達雄

都丸 津久井 光代

寝て食べば牛になるぞと脅されし
祖母のなつかし里の囲炉裏辺

田子 嘉津 達雄

豌豆の支柱に添ひて伸びにのび
蝶形の花はピンクの濃淡

茂木 初江

寝て食べば牛になるぞと脅されし
祖母のなつかし里の囲炉裏辺

狩野 千代子

今日こそはと決めた断捨離はかどらず

優柔不斷の吾の癖なり

木暮登美子

輝く笑顔！ 児童らが田植え体験



田植えって
楽しいね

管内の小学5年生が、それぞれの学校近くの水田で田植えに挑戦しました。最近は機械化により、手で植えることは珍しくなりました。

この実習は作物を育てるごとの喜びを知つてもらおうと、先生や保護者、地域の人たちの指導を受け、毎年行われています。天気の心配もありましたが、各学校とも無事に田植えをすることが出来ました。

児童らは苗の植え方を教わり、田んぼにおそるおそる足を入れると、慣れない泥の感触に「キャー」「ワー」という喚声が上

田植えを終えても元気
いっぱい！津久田小学校
の児童ら

横一列に並んで田植えをする橋北小の児童

泥んこになつて
大はしゃぎ

がりました。苗3～4本ずつを手に取り、先生の指示や田植え縄に沿つて15センチ間隔で横一列に植えていきます。バランスを崩し、しりもちをつく子や、生き物に気をとられる子もいて、植え忘れも見られましたが、みんな終始笑顔で楽しそうに田植えをしていました。

一生懸命植えた稲で実りの秋に刈り取りを体験する予定です。

6月7日、津久田小学校の2年生は社会科見学の一環として、赤城営農経済センター・しきしま支所などの施設を見学しました。小学生たちは、JA職員に元気いっぱいにあいさつしました。JA担当者からJAの概要の説明があり、その後、質問に入りました。「出荷された野菜はどこに市場へ運ばれますか」「JAの出荷物で1番多いのは何ですか」など熱心に質問をしていました。

津久田小学校2年生 JAの施設を見学



農業委員のみなさんに
「ありがとうございます」の感謝を述べます



橋小の児童による田植え体験



最後はアンパンマンと一緒にパシャリ